

高 姫西 SSH 通信

～データ活用を生かした課題研究～

vol.6 2020.11.

【活動の記録】

9月から10月の国際理学科、普通科それぞれの学年別で活動内容を報告します。

○1年生

【国際理学科】

兵庫教育大学 奥村好美先生、宮田佳緒里先生によるルーブリック作りや、帝国データバンク 大里隆也先生によるpythonを使用したデータ解析法など、実践を交えた講義を行った。また、統計データ分析コンペティションに向けた研究をさらにまとめる作業を行っている。

↓ルーブリックについて講義される奥村先生(右)と宮田先生(左)



【普通科】

兵庫県統計グラフコンクールに向けたポスター作成をメインに、自分たちの研究をまとめ本校の発表会の準備を進めている。

○2年生

【国際理学科】

『自然科学実践』グループの中では、姫路工業高校との共同研究を進める班や、姫路市の支援による生物多様性プロジェクトに参加して助言をいただくなど、外部と積極的に関わりながら仮説検証を行っている。

↓ 姫路工業高校に器具作成依頼する本校生徒



【普通科】

ポスターによる研究発表会を行い、生徒たちで評価しあうことで、各自が次のステップアップにつながるきっかけとなった。

↓ ポスター発表しているようす



○3年生

【国際理学科】

2年生国際理学科に対して助言指導を行った。各自の経験が後輩に伝わり、研究することについて相互の成長がうかがえた。

↓ 2年生に助言指導しているようす



全校生徒が、データ分析に取り組むことの重要性や課題を感じながら、前向きに研究を進めている。